



# YUMINO MAGAZINE

vol.3 | 2022.11

- ・ゆみのハートクリニック開院10周年記念特集
- ・当法人のコロナへの取り組みについて



ご挨拶 ～10年目を迎えて～

今年9月、医療法人社団ゆみのは創立10周年を迎えることができました。これもひとえに、これまで関わっていただいた皆様の温かいご支援のおかげでございます。厚く御礼を申し上げます。

開業以来、当法人では、医療とマネジメントを分離し、医療者は患者さんをみる、マネジメントは組織づくりを行う、と役割分担をすることで、患者さんやご家族に安心して医療を受けて頂けるように取り組んで参りました。

当法人では、「その人らしい人生」「チームとともに」「未来へむかって」という3つの理念を掲げています。これらは法人ホームページや皆様にお渡しする名刺の裏にも記載しておりますが、その行間に込めた思いを記します。

——「その人らしい人生を」

100人いれば100人の人生がある。自分とは異なる価値観が100ある。その人らしさ、その人の価値観を理解し支えることは、チームであれば可能になる。医師だけでなく多職種で形成されたチームでみることで、その人らしさをよりサポートできる。

——「チームとともに」

チームでは、個々の弱みを補いつつ強みにフォーカスできる。強みを最大限に活かすには、メンバーの個性を理解し合うこと、コミュニケーションが多く交わされること、多職種がフラットでいられるようバランスを保つことが重要である。個々は、自身およびチームの成長にコミットし働きかける。法人は、個々の成長のために、常に未来志向で事業を運営し、個々にチャレンジの場を提供する。

——「未来へむかって」

変化が激しい現代において、その変化を楽しみ、未来を創る。患者さんや社会の利益のために、アウトプットし、議論し、改めて患者さんに還元するサイクルを維持する。また、私たちの手の届かない地域や未来の医療の一助となるよう、ノウハウを発信する。

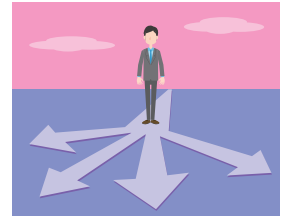
これらの思いを引き続きたいせつにしながら、これからの10年も変わらぬ思いで地域医療を実践してまいります。今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 堀部 秀夫

理事長コラム vol.2 最近の一冊

『現代思想入門』 千葉雅也著 2022年

書店で「人生の多様性を守るために現代思想を学ぶ」という文章が目にとまり、本書を手にとりました。



現代思想とは、1960年代から90年代を中心に、主にフランスで展開された「ポスト構造主義」の哲学を指します。

本書では、ポスト構造主義の現代思想を牽引したデリダの「概念の脱構築」、ドゥルーズの「存在の脱構築」、フーコーの「社会の脱構築」の思想が紹介されています。これらに共通するのは、「二項対立の脱構築」です。それはつまり、物事を善と悪などの二項対立で捉えてよし悪しを判断せず、いったん留めておくこと。私たちは何かを決めるとき、二項対立を当てはめて、「良い」方を選ぶとしますが、実際にはどちらがプラスか曖昧な場合が多くあります。千葉さんは、こう書いています。

“秩序化・クリーン化の方向に進む現代は、ルールに収まらないケースやルールの境界線が問題になるようなケースが無視されることがある。物事を「きちんとする」ことは、個別具体的なものから目をそらし、生活を窮屈にすることにつながってはいないだろうか。これに対して現代思想は、秩序を強化する動きへの警戒心を持ち、秩序からズレるもの、すなわち「差異」に注目する。それが、人生の多様性を守るために必要だ、”

当法人の理念のひとつに、「わたしたちは、医を通して、その人らしい人生をサポートします」があります。地域医療・在宅医療においては、それぞれの家の鍵が違うように、同じLIFEの方はひとりもいません。これからの医療は、そのような個別性・多様性にいかに対応していけるのが重要であると考えます。

例えば、独り暮らしのご高齢の方が「何十年も住んでいた家で最期まで過ごしたい」と望んでいても、病状が進行すると、トイレへの歩行さえも困難になることなどにより、手厚い介護が必要になります。すると、周囲から「もう家で過ごすのは無理ではないか」という声が上がると、老人ホームへ入居したり、入院したりするケースが多くあります。そのようなとき、私たちはもう一度、「その患者さんらしいLIFEは何か」を考えます。それが、秩序から多少外れていても、きちんとしたものではなくても、むしろその「差異」をたいせつにしたいのです。

「こうでなければならない」という考えではなく、これからも一人ひとりの個性・多様性を重んじながら、地域の皆様へより良い医療を提供してまいります。

理事長 弓野 大

2022年9月25日、ゆみのハートクリニックは開院10周年を迎えました。  
これもひとえに地域の皆様、関係者の皆様、そして一緒に働くスタッフのおかげです。  
今回はこれまでの歩みを振り返ります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

● 2012 ゆみのハートクリニック開院

9月25日、東京・高田馬場に開院。  
弓野理事長の地元新宿に近く、それまで働いていた東京女子医科大学病院からも近隣であることにより選ばれました。スタッフ数13人からスタートしました。

● 2014 医療法人社団ゆみのは設立

ゆみのハートクリニックの2階に新オフィスを開設。入口には記念写真がずらりと並んでいます。



● 2015 訪問リハビリテーション事業 開始

当初2人からのスタートでしたが、いまは30人を超える訪問リハビリテーション部として稼働しています。

● 2017 訪問看護事業 開始

この年から、訪問看護事業もスタートしました。

● 2018 のぞみハートクリニック 開院

岡田院長の地元である大阪の中心地・新大阪駅前に開院。名前は、鉄道好きの院長によって新幹線の列車名からつけられました。

● 2019 ゆみのハートクリニック渋谷 開院

2019年5月に3つ目の拠点を東京・渋谷に開院。渋谷在住で渋谷区民への愛にあふれる鮫島院長は、コロナ禍において真っ先に感染者への24時間往診体制を率いました。

● 2020 ゆみの訪問看護ステーション 開設

2020年1月に訪問看護ステーションを新宿・上落合に開設しました。

● 2021 ゆみのハートクリニック三鷹 開院

西東京の広範囲を担う鈴木院長は、弓野理事長と医師1年目からの同期。多くの重症心不全患者の在宅医療を行っています。

● 2021 ゆみの在宅医療管制塔センター 設立

東京・千駄ヶ谷に、当院のかかりつけ患者さんに対して24時間365日体制で遠隔看護を行う「ゆみの在宅医療・管制塔センター」を新設。

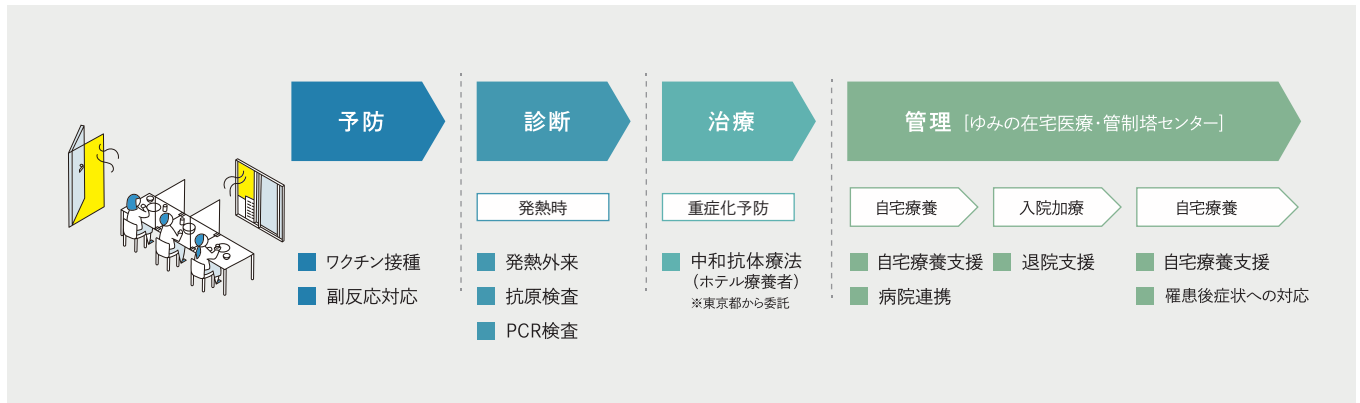
● 2022 わかばハートクリニック 開院

九州で初の拠点。「わかば」という名前は、「福岡の地に新しい地域の医療の形を根付かせ、いつまでも初心を忘れずに歩み続ける」というルーツをもっています。



2020年以降、当法人では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応に尽力してまいりました。変異株の出現、複数回の感染の「波」が発生するなど、現在も予断を許さない状況です。ここでは、当法人が2022年に行ってきた取り組みをご紹介します。

当法人は、4つのフェーズで新型コロナウイルスへの対応を行っています。



## ■ ワクチン接種

各院、外来ではかかりつけ患者さんと地域の方を対象に、また在宅では訪問診療を行っている患者さんを対象にワクチン接種を実施しています。



また、職域接種にも協力し、これまで約33,000回の接種をいたしました。各企業と話し合いながら、会場レイアウト、必要物品等の準備段階から関わったほか、ワクチン接種後のアフターフォローとして、無料通信アプリ「LINE」を使用した副反応相談、必要に応じてオンライン診療を行いました。

## ■ オンライン診療

コロナ感染拡大を受け、厚生労働省は2020年4月「時限的・特例的な対応」として初診のオンライン診療を解禁しました。当院においても、発熱や風邪症状のある患者さんに対しオンライン診療を実施しており、2021年は年間481件のオンライン診療を行いました。

また、2022年7月頃から感染者数が全国的に急増した「第7波」の状況下で、東京・大阪・福岡と各拠点のオンライン診療をセンター化にし、より多くの受け入れを可能としました。

## ■ 遠隔管理

自宅療養者に対し、渋谷区千駄ヶ谷にある「ゆみの在宅医療・管制塔センター」では、医師や看護師により、ITを用いた遠隔支援を行っています。自治体、保健所、医師会からの要請で自宅へ往診した方、発熱外来へ来院した方、提携を行った企業の職員に対して、LINEを用いたコミュニケーションをベースに、必要に応じてオンライン診療を実施しています。

## ■ 発熱外来/時間外発熱外来

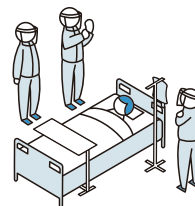
2020年より、各院において発熱外来を設置しています。他の患者さんとは時間的に隔離をし、PPEはじめ万全な感染対策を行った上で検査・治療を実施しています。

2022年の「第7波」における感染者急増時には、ゆみのハートクリニック渋谷において夜間時間外に発熱外来を設置しました。21時から24時まで受付可能とし、これまで約300名が来院しました。

また、同年6月に開院した福岡のわかばハートクリニックでは、第7波にあわせて日曜祝日に発熱外来を設置し、380名が来院しました。



## ■ 中和抗体療法/宿泊療養施設への往診



当法人は2021年9月より、東京都からの委託を受け、宿泊療養施設への往診と中和抗体療法を実施しております。

発症7日以内で、かつ重症化リスクを有する、酸素投与を要さない方を対象として実施し、

これまでに約1,600名に投与を行いました。また、2022年1月第6波による感染が増加した時から東京都直轄12の宿泊療養施設への往診を開始し、これまで約550名の往診を実施しています。

## お知らせ



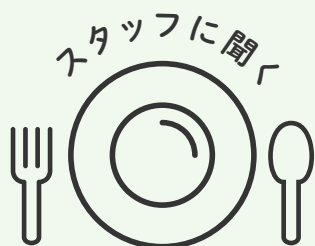
### 公式YouTubeチャンネル「不思議な心臓」始動!

「なぜ心臓は動き続けられるの?」「心電図で何が分かるの?」「弁がないとどうなるの?」…など、心臓には不思議がいっぱい。身近すぎて普段意識しない、案外知らない心臓のことを解説するYouTubeチャンネルを立ち上げました。  
ゆみのハートクリニックの萩原誠久医師と、中学生のれんたろうくんの2人で分かりやすく心臓のことを掘り下げます。  
是非チャンネル登録をよろしくお願いいたします!



vol.8まで撮影終了!  
続々配信中です

チャンネル登録は  
こちらから!



## おすすめグルメ BY YUMINO

YUMINOではおいしいグルメを発見したら  
スタッフ皆に共有する文化があります。  
ここではその一部をご紹介します。



### 東京・西荻窪 もがめ食堂

メニューのレパートリーが多い人気の定食屋さん。写真は理学療法士Wさんが選んだ、小鉢、具沢山の味噌汁、おかわり自由のごはんが付いた「もちまぐろ刺定食」です。

📍 東京都杉並区西荻南3-7-7  
最寄り:JR西荻窪駅



### 福岡・中洲 とり田

有名水炊店「とり田」のランチ。写真は看護部長が食べた、上品な味付けでおろしポン酢でさっぱりといただく「唐揚げ定食」。砂肝がアクセントの鶏そぼろ丼も美味しそうでした。

📍 福岡市博多区下川端町10-5  
博多麴屋番ビル1F  
最寄り:地下鉄空港線 中洲川端駅

## 📍 拠点一覧 (2022年10月時点)

東京	医療法人社団ゆみの	〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 2F
	ゆみのハートクリニック	〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 1F
	ゆみのハートクリニック渋谷	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 25-18 NT 渋谷ビル 2F
	ゆみのハートクリニック三鷹	〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 2-2-1 ネベル三鷹 2F
	ゆみの訪問看護ステーション	〒161-0034 東京都新宿区上落合 2-9-16 インテック落合 207
	ゆみの在宅医療・管制塔センター	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-51-10 PORTAL POINT HARAJUKU701
大阪	のぞみハートクリニック	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3-5-36 新大阪トラストタワー 1F
福岡	わかばハートクリニック	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 3-9-39 福岡舞鶴スクエア 1F